

令和8年度第1回住吉区総合教育会議 議事要旨

◆日 時：令和8年7月10日（金）14:00～15:30

◆場 所：住吉区役所 4階 第4・5会議室

◆出席者：

（委 員）

荒巻委員、伊井委員、木村委員、島谷委員、中西委員、東山委員、船津委員、
松下委員

（区役所）

区担当教育次長、区教育担当部長、関係課長・課長代理

（オブザーバー）

墨江小学校長、我孫子南中学校長、墨江幼稚園長

◆案件

（1）総合教育会議について

- 分権型教育行政の仕組み等について教育文化課長から説明を行った。

（2）令和8年度住吉区における主な教育・子育て関連事業

- 住吉区が実施する主な事業について、関係課長から説明を行った。

（3）グループディスカッション

- 区役所が小・中学校へ行う教育支援の取組みについて、グループディスカッションにより意見交換を行い、より良い施策の実現につながるアイデアを頂戴した。

【グループA】

小学校を対象に支援している「漢字検定チャレンジ支援」について、漢字検定の受検料の増額により予算額を超過することから、仮に漢字検定の受検料以外の支援を行うとした場合、どのような支援が良いかについてご意見を頂戴した。

(ご意見)

- 2 学年連続で受けられることに意義があるので 1 学年になるのは残念。検定に向かってみんなで一緒に頑張って合格したという達成感を得て喜びあえるという体験が良い。漢検に限らず、達成感が得られるものがないのではないかな。
- 住吉区には、素敵な企業、取組み、歴史・文化があるので、「地元を知る」をキーワードに、小学校の段階からキャリア教育等に取り組めるとよいのではないかな。

【グループ B】

中学校を対象に行っている「不登校生徒の校内における居場所づくり支援事業」について、2 年に亘って居場所教室の整備のための物品を購入し配付することにより、環境整備も一定整うと考えられることから、それに替わる新たな支援はどのようなものが良いかについてご意見を頂戴した。

(ご意見)

- サポートルーム（居場所）について、空間的・物理的には整ったが、その先を考える時期にきているのではないかな。不登校になった理由は様々であり、一人ひとりが違う背景を持っているので、きめ細かい対応が必要ではないかな。サポートルーム（居場所）に教員が居てくれるという選択肢と同時に、ボランティアやスクールカウンセラー（SC）、スクールソーシャルワーカー（SSW）といった方が定期的に来てくれるようなシステムができればいいのではないかな。
- 生徒が少なくなったことで、部活動の合同チームや拠点校方式での活動が展開されてきている。公立大学杉本キャンパスのグラウンド等の施設を部活動で使用できないかな。部活動をしている大学生ともコラボレーションができればいいのではないかな。
- これまで小・中までは区とつながって支援してきた子どもが、高校進学段階でつながりが切れてしまう。制度的には守秘義務の壁等の課題がありつつも、切れ目のない支援のつながりを高校以降もできていければいいのではないかな。